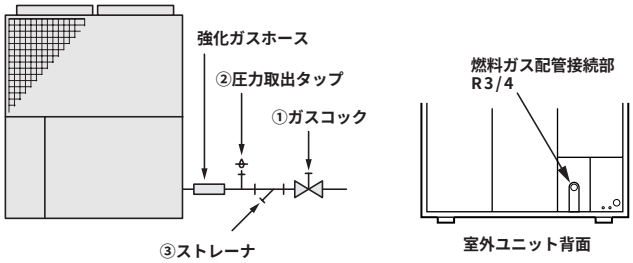
燃料・ドレン配管工事

施工の際には、室外ユニットに付属の施工説明書を参照のうえ施工してください。

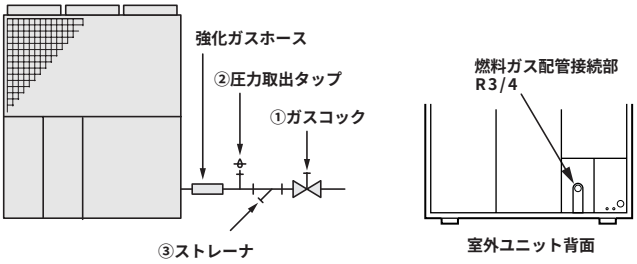
■燃料ガス配管工事

●室外ユニットの燃料ガス配管は下図のように配管してください。
●下図に示す①の機器は、燃料系統サービスのため必ず取り付けてください。
●②、③の機器は、供給圧力の確認、燃料ガスのろ過のために必要な機器です。必要に応じて取り付けてください。

P224形～P355形

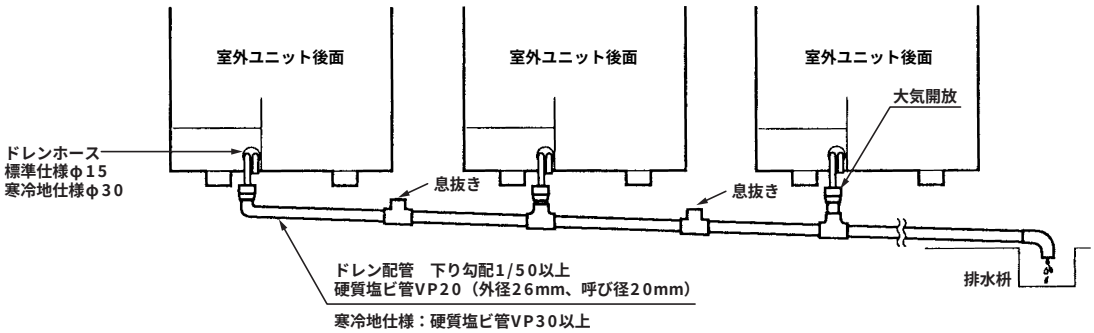


P450形～P710形

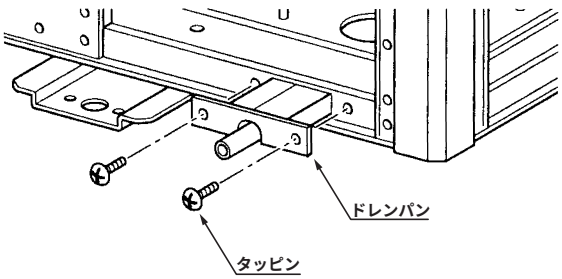
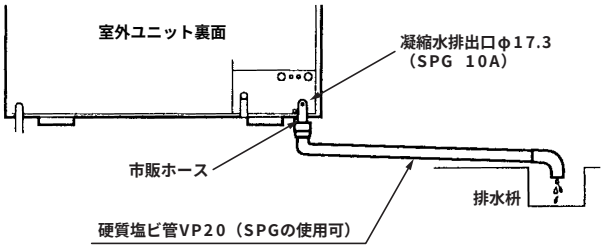


■排気ドレン配管工事

●室外ユニットドレンホースは、排気ガスの凝縮水が出るため、ドレン配管は下図のように長いドレンホースに接続してください（通常、短いドレンホースからは凝縮水は出ないためドレン配管する必要はありません）。



●寒冷地仕様の場合は、ドレンヒータがエンジンルームに同梱してあります。取付け方法は付属の施工マニュアルを参照してください。
●寒冷地（外気温が0℃以下になる地域）ではドレン配管が凍結すると機械故障の原因になります。ドレン配管は断熱材・ヒーター等で凍結防止処置をしてください。

■凝縮水ドレン配管工事

●凝縮水排出口からは、アキュームレータにて結露した水が出てきます。凝縮水の滴下が問題になる場合はドレン配管工事を行ってください。
●凝縮水排水ドレン配管と排気ドレン配管との共用はしないでください。排気ガスが室外ユニットに流入し、故障の原因になります。